第１学年　道徳学習指導案

１　主題名　　「素直にのびのびと」　A－（2）正直、誠実

　　資料名　　あのね　（出典　東京書籍　道徳１　みんな　なかよく）

２　主題設定の理由

　（１）ねらいとする価値について

　　　　正直で誠実であることは、人間として最も大切なことの一つである。誠実な生き方とは、他人に対することだけではなく、自分自身に対してうそやごまかしがなく、素直になれることでもある。そういう気持ちを常に意識していくことが、前向きで健康的な自己確立に結びついていくものと考える。

　　　　低学年においては、他者から叱られたり、責められたりすることから逃れたいという気持ちが働くことが少なくない。そのために、うそを言ったり、ごまかしたりしてしまうことがある。しかし、このような振る舞いは、一時しのぎに過ぎず、真の解決には至らない。いけないことをしてしまったときには、素直にその非を認め、あやまることが求められる。他人を欺き、自己を偽れば、後悔や自責の念が生じ、相手と正対することができなくなったり、相手の信頼を失ったりしてしまうおそれがある。うそやごまかしをせず、正直で素直にのびのびと生活できる態度を養っていきたいと考える。

（２）児童の実態について

　　本学級の児童は、全体的に明るく素直な児童が多い。大半の児童が、これまでの経験からうそをつくことは悪いことであると十分認識はしている。しかし、実際の生活で自分の立場が悪くなると、都合のよいように言い訳をしたり、とっさにごまかしたりしてしまう様子が見られる。そして、自分をごまかした苦しさから、落ち着かず、乱暴な口調や行動に出てしまうこともある。つらくても正直に本当のことを告白することで、明るくのびのびと生活できるということに気付かせたい。

（３）資料について

　　　本資料は、おもちゃの車を拾ったチッチが、友達のトービーに、車のことを聞かれ、おもわず「しらない。」とうそをついてしまう。何げなくうそを口にしたチッチであったが、そのうそがずっと心に引っかかり気持ちよく生活することができない。そんなチッチを心配したトービーの優しさに触れ、うそをついていたことを正直に告白する。正直に話すことで、これまで心に刺さっていたとげが取れ、心が晴れるという内容である。チッチの心の動きを追いながら、チッチの気持ちに深く共感させ、素直に非を認めることの大切さに気付かせたい。この話をもとに、本当のことを大切にし、素直で明るい心でのびのびと生活しようとする態度を養っていきたい。

４　指導計画　　１時間完了（本時）

５　本時の指導

（１）ねらい

　　　　チッチがうそをついたときの心の痛みに共感して、素直に謝るチッチを演じることを通して、本当のことを大切にし、正直に話すことで、明るくのびのびと生活できることを理解する。

（２）準　備

　　　教師： 場面絵、ワークシート

（３）関　連

　　　１年「しろくなったどろぼう」、「ひつじかいのこども」

　　　２年「どんぐり」「ともだちやもんな、ぼくら」

（４）指導過程　　　　　　　○：主な発問　　　◎：中心発問　　　形質：学習形態・資料

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 段 | 分 | 学習活動・主な発問と予想される児童の反応 | 形　質 | 手だて及び留意点 |
| 方　向　付　け | ３ | １．うそをついた経験について話し合う。   * うそをついてしまったことはありますか。それはどんなうそでしたか。   ・歯みがきをしていないのに、歯みがきをしたと、つい言ってしまった。  　・ゲームをしてはいけないと言われていたけど、隠れてゲームをしてしまった。  ・宿題が終わってないのに、終わったと言ってしまった。  ・嫌いな食べ物を一口食べたと、うそをついてしまった。 | 一斉 | ・児童が想起しやすいように、具体的な例をあげる。  ・誰もがついうそをついてしまった経験があることに共感させ、うそを責めることがないように、深く追求せず、軽く進めるようにする。 |
| ねらいとする価値の追求・把握 | ２　　　　５ | ２．本資料「あのね」を聞き、主人公「チッチ」の気持ちや考えについて話し合う。  （１）胸がちくちく痛くなった理由について、話し合う。     * チッチの胸はどうしてちくちくと痛くなったのでしょう。   　・友達のトービーにうそをついてしまったから。  　・本当のことを隠していることが、苦しいから。  　・いつかうそがばれてしまうのではないかと、不安に思っているから。  　・どうしていいかわからなくなってしまって、心が苦しいから。 | 紙芝居  一斉  動作化 | ・資料内容の理解を促すために、場面絵を提示する。  ・ごまかしのうそが、ずっと心に引っかかっていることを捉えさせる。  ・うそをつき続ける動作化を取り入れ、嘘をつく苦しさを共感させる。 |
|  | ５　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　５ | （２）胸がちくちく痛くなってしまったチッチが、トービーの遊びの誘いを断って、ため息をついたときの気持ちについて話し合う。   * トービーからの遊びの誘いを断ったチッチがため息をついたとき、チッチはどんな気持ちだったでしょう。   　・苦しいな。一緒に遊びたかったのに。  　・どうしてうそをついてしまったのだろう。  　・今更、本当のことを言うのは、怖いな。  　・あやまったら、許してくれるかな。  　・本当は返したいのに、どうしよう。    （３）チッチを心配したトービーが家を訪ねてきたときのチッチの気持ちについて話し合う。   * トービーから「お見舞いにきたよ」。」と言われたとき、チッチはどんな気持ちになったでしょう。   ・トービーはなんて優しいのだろう。  　・心配してくれて、ありがとう。  　・うそをついてしまっているのに。ごめんなさい。  　・トービーなら、正直に話したら、許してくれるかもしれない。  　・本当のことを話そう。 | 一斉  一斉 | ・本当のことを言わなければいけないと思う気持ちと、正直に話す怖さから、ばれずにすんでほしいと思う二つの気持ちの葛藤を捉えさせる。  ・うそをついてしまったことに対する後ろめたさを捉えさせる。  ・トービーの予想していなかった優しい言葉にチッチの心が大きく揺れ、良心が痛む気持ちを捉えさせる。 |
| 価値の主体的自覚 | １０ | ３．役割演技を通して、道徳的価値の自覚を深める。  ◎　チッチがトービーに正直に話し、「ごめんね。」と謝ったとき、どんな気持ちだったでしょう。  ・正直に話して、すっきりとした。  　・本当のことを話せて、よかった。  　・これでまた仲良く遊べる。  　・もううそをつくのは、やめよう。 | 一斉  役割演技 | ・チッチとトービーが話をしている場面を想定し、チッチがどのようにトービーと話をしているかを考えさせ、役割演技をさせる。  ☆チッチの置かれている状況を自分自身に置き換え、正直に本当のことを話すことで気持ちが明るくなることに気付くことができたか。 |
| まとめ | １０ | ４．授業を通して思ったこと・感じたことを書き、友達の発表を聞く。 | ワークシート  一斉 | ・ワークシートに全員記入させる。  ・友達の正直について考えたことを聞く。 |

（５）板書計画

あのね

◎むねがちくちくといたい

　　　　　　　　・うそをついてしまった。

　　　　　　　　・ほんとうのことをかくしていて、

　　　　　　　　　くるしい。

　　　　　◎ためいきをついたとき

　　　　　　　　・くるしいな。あそびたい。

　　　　　　　　・うそをつかなければよかった。

　　　　　◎「チッチだいじょうぶ」

　　　　　　　　・トービーはやさしいな。

　　　　　　　　・しんぱいしてくれたんだ。

　　　　　　　　・ほんとうのことをはなそう。」

　　　　　　◎しょうじきにごめんねと

　　　　　　　あやまった。

　　　　　　・しょうじきにはなせて、すっきり。

　　　　　　・しょうじきにいえて、よかった。

　　　　　　・これからは、しょうじきにはなそう。

６　評価

場面絵

場面絵

場面絵

場面絵

場面絵

場面絵

チッチ

７　反省

８　ご高評

「あぁ。いたいし、くるしいし。

　どうして　うそを　ついちゃった

んだろう。」

トービー

（６）評価

　　　　チッチがうそをついたときの心の痛みに共感して、素直に謝るチッチを演じることを通して、本当のことを大切にし、正直に話すことで、明るくのびのびと生活できることを理解できたか。